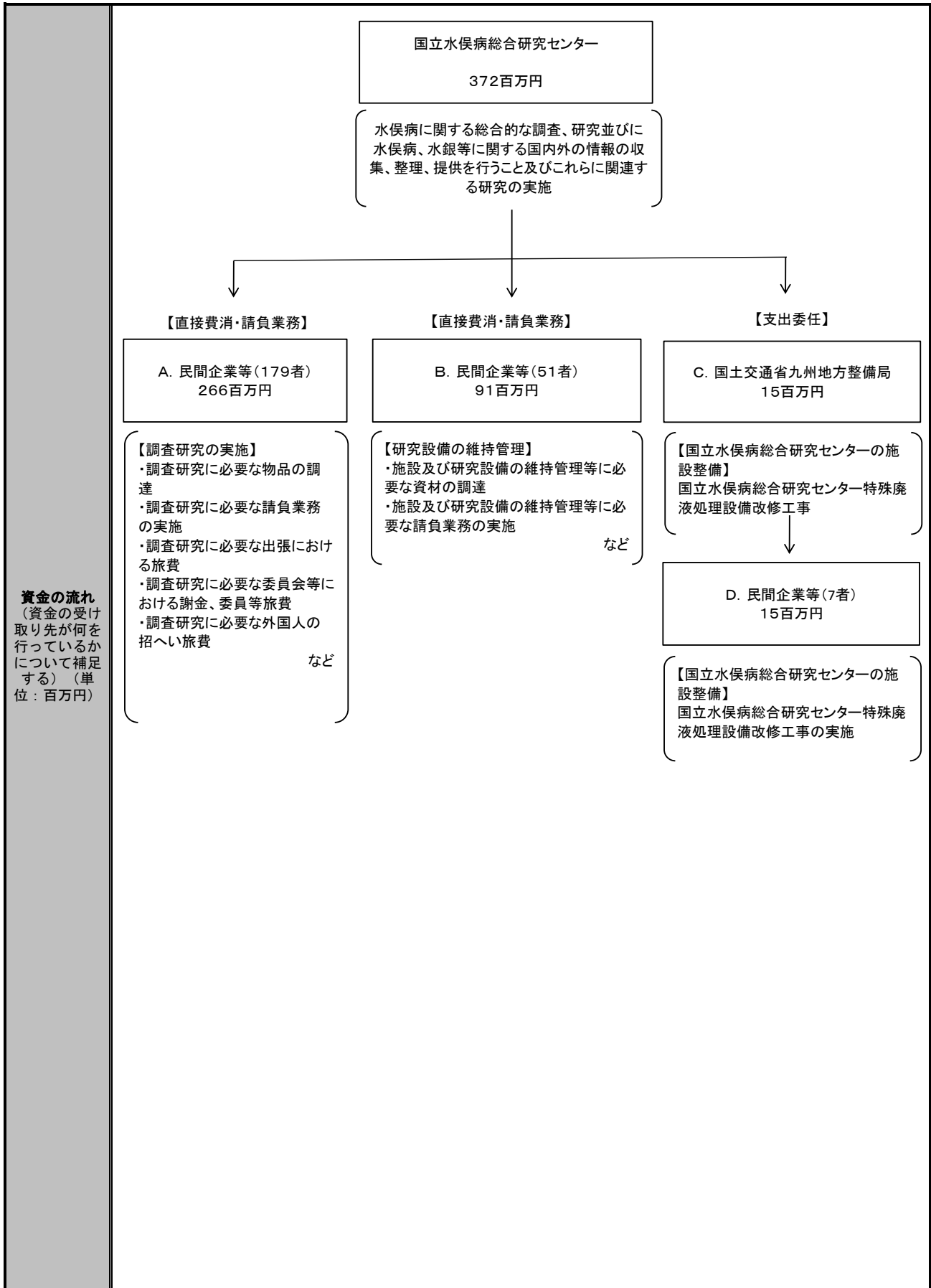


平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	国立水俣病総合研究センター		担当部局庁	国立水俣病総合研究センター		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和53年度		担当課室	総務課		総務課長 佐藤克子		
会計区分	一般会計		施策名	7-2水俣病対策 9-3環境問題に対する調査・研究・技術開発				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	環境省設置法第4条及び環境省組織令第42条		関係する計画、通知等	該当なし				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	水俣病に関する総合的な調査、研究並びに水俣病、水銀等に関する国内外の情報の収集、整理、提供を行うこと及びこれらに関連する研究の実施を目的とする。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	①研究活動 水銀の健康影響の研究、環境中の水銀動向に関する研究、水銀分析に関する研究、水俣病の社会学研究など、水俣病問題及び水銀問題の解決に向けた研究 ②地域貢献 水俣病被害地域の社会福祉協議会等と協力したリハビリテーション・介護予防指導 ③国際貢献 海外技術者の研修受入や当センター研究者の派遣による水銀分析・測定技術の技術移転等 ④情報収集・発信 水俣病関係資料の収集・整備及びそれらの情報を活用した水俣病教訓の情報発信							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	569	606	411	612	372	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	△97	97	△34	34		
		計	472	703	377	646		
		執行額	420	641	372			
	執行率(%)	89.0%	91.2%	98.7%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	当センターの実施する事業については水俣病の研究の推進等に特化しており、一定の成果が認められるものの、これらは未だ発展途上にある継続的な事業分野であり、水俣病問題において定量的に示すことのできる成果実績に結びつく段階には至っていないため、定量的な成果目標及び実績を示すことができない。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	地域と協力したリハビリテーション事業への参加者		活動実績 (当初見込み)	人	1,263	13,708	15,775 (13,708)	— (15,775)
	国際貢献事業実施数(研修受入・共同研究)		活動実績 (当初見込み)	人	198	206	157 (206)	— (157)
	水俣病情報センター来館者数		活動実績 (当初見込み)	人	41,091	40,824	42,438 (40,824)	— (42,438)
単位当たり コスト	平成22年度 リハビリテーション事業への参加者1人当たりのコスト (2,335円/1人)		算出根拠	事業実施に必要な経費/参加者数				
	平成22年度 国際貢献事業実施数 1人当たりのコスト (86,006円/1人)		算出根拠	事業実施に必要な経費/参加者数				
	平成22年度 水俣病情報センター来館者数1人当たりのコスト (370円/1人)		算出根拠	水俣病情報センター運営のために必要な経費/来館者数				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	2	4	事業の拡充				
	職員旅費	1	1					
	委員等旅費	4	4	外国人の招へいを伴う事業の整理統合 備品費の要求減				
	外国人招へい旅費	4	2					
	試験研究費	557	327					
	招へい外国人滞在費	4	4	事業規模の縮小				
	施設費	40	30					
計	612	372						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平成21年の特措法の成立や平成25年度中の水銀条約調印に向け、水銀問題に対する国内外の関心が高まっており、その中で当センターは日本国内で唯一水銀問題に特化した研究機関であり、近年は高水準の執行率を保っている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	総支出額(国庫債務負担行為による随意契約を除く)における40%程度を競争入札により調達しており、競争性の確保並びにコスト削減に努めるとともに、請負者との連絡を密にして指導監督を実施し、適正な支出内容の確保を図っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	水俣病に関する専門の研究機関としての役割の元、研究職員それぞれが、限られた予算の中で最大限の研究成果を得られるよう研究手段を検討しており、毎年学会や論文等を通じ成果の発信、評価を受けている。それらの研究を支える各種施設や設備についても、共同研究や海外研究者の受け入れ等、幅広い利活用を推進している。さらに、これらの施設・設備の維持管理においても創意工夫を重ねあらゆる延命対策を実施しており、様々な選択肢を検討しつつ真に必要な箇所の更新となるよう努力している。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>当センターの事業内容については、国内外の水銀問題に対する要請に応えるべく、高い専門性と強力な実施体制の元、上記特記事項に記載の通り様々な努力を重ね、適切に執行できているものと思われる。定量的な活動実績については年度によるばらつきが見られるが、原因を検討し改善を図り、今後ともより効果的・効率的な事業内容となるよう努めて参りたい。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	研究に必要な備品等に係る経費については、真に必要なものに限ること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	研究に必要な備品等について、真に必要なものに限ることとして、概算要求額を縮減。		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>平成21年度決算検査報告における不当事項 「物品の購入等及び調査・研究等の請負又は委託に当たり、事実と異なる内容の関係書類を作成するなど不適正な会計経理を行って試験研究費、公害調査等委託費等を支払っていたもの」 において指摘を受けたため、会計事務担当者に対する内部牽制の一層の充実を図るとともに、法令遵守に係る内部統制を確立することにより、かかる事態の再発防止に努めている。</p>			



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(株)日医リース			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料及び損料	脳磁計リース	98			
計		98	計		0
B.(株)アニマルケア			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	実験動物飼育管理	16			
計		16	計		0
C.国土交通省九州地方整備局【支出委任】			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	国立水俣病総合研究センターリハビリ棟改修工事	15			
計		15	計		0
D.(株)藤島工務店			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	国立水俣病総合研究センターリハビリ棟改修工事	14			
計		14	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日医リース	脳磁計システム賃貸借業務	98	-	-
2	社会福祉法人芦北町社会福祉協議会	介護予防等在宅支援のための地域社会構築推進事業(芦北地域)の実施	21	-	-
3	社会福祉法人水俣市社会福祉協議会	介護予防等在宅支援のための地域社会構築推進事業(水俣地域)の実施	17	-	-
4	有限会社サンセイ科学	磁気刺激用ナビゲーションシステム1式の購入 他	17	1	99.7%
5	(株)ネクスト	大気中水銀形態別モニタリング装置一式の購入 他	14	1	99.2%
6	エレクタ(株)	脳磁計システム保守点検業務	10	1	98.9%
7	(株)八尾日進堂	フリーラジカル解析装置の購入 他	8	1	100.0%
8	社会福祉法人照徳の里	障害者等に係る介護予防等在宅支援のための地域社会構築推進事業の実施	7	-	-
9	(株)ICSコンベンションデザイン	スロベニア水銀ワークショップ開催補助業務の実施	6	1	74.3%
10	国立大学法人九州大学	総合的水銀研究推進事業の実施	4	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アニマルケア	実験動物飼育管理業務の実施	16	1	99.9%
2	九州電力(株)	国立水俣病総合研究センター電気使用量	15	1	91.7%
3	(株)富士通九州システムズ	国立水俣病総合研究センターネットワーク維持管理業務	9	1	82.7%
4	富士通リース(株)	国立水俣病総合研究センターネットワーク機器賃貸借・保守等業務の実施	7	-	-
5	(株)乃村工藝社	水俣病情報センター展示更新業務の実施	7	-	-
6	NECファンリティアーズ(株)	国立水俣病総合研究センター特殊廃液処理設備維持管理業務の実施他	6	1	97.1%
7	(株)ネクスト	オンライン水銀連続測定装置1式の購入 他	6	2	92.8%
8	(株)千代田テクノル	国立水俣病総合研究センター放射線施設管理業務の実施 他	4	1	80.0%
9	(有)イワナガ電気	国立水俣病総合研究センター水俣病情報センター展示室LED化工事の実施 他	3	-	-
10	ジョンソンコントロールズ(株)	水俣病情報センター中央監視装置保守点検業務の実施	2	1	87.7%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国土交通省九州地方整備局	国立水俣病総合研究センターリハビリ棟改修工事に係る支出委任	15	-	-

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)藤島工務店	国立水俣病総合研究センターリハビリ棟改修工事	14	5	91.2%
2	(有)瀬口建築設計事務所	国立水俣病総合研究センターリハビリ棟改修工事に係る設計業務	0.1	-	-
3	熊本コピー(株)	国立水俣病総合研究センターリハビリ棟改修工事に係る資料作成	0.1	-	-
4	西日本電信電話(株)	国立水俣病総合研究センターリハビリ棟改修工事に係る電話料	0.1	-	-
5	(有)おくばオーエスブレイン	国立水俣病総合研究センターリハビリ棟改修工事に係る複合機借料	0.1	-	-
6	(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ九州支社	国立水俣病総合研究センターリハビリ棟改修工事に係る電話料	0.1	-	-
7	西部ガス(株)	国立水俣病総合研究センターリハビリ棟改修工事に係るガス料	0.1	-	-